

DMAT 及び災害拠点病院運営委員会

災害拠点病院運営委員長 木村 龍範

当院は平成 15 年 10 月より災害拠点病院に指定されております。災害拠点病院とは、各都道府県に災害時における医療救護活動の拠点となる病院を設置し、被災現場において応急救護を行う救護所や救急病院、救急診療所等との円滑な連携のもとに、災害時における重症患者の適切な医療を確保することを目的に知事が指定しています。当委員会は昨年度より設置され、これまで改訂がなされていなかった当院の災害対策マニュアルを見直す事を主軸にしており、ゆくゆくは大災害を想定とした傷病者受入訓練を院内スタッフで行う事を目標に活動を行っております。

〈H28 年度の委員会活動報告〉

昨年度までは現行のマニュアルを一つ一つ見直す作業を行っていましたが、マニュアル自体が小規模な災害を想定したものであるため、委員のイメージが統一できず、全く進行しませんでした。そこで今年度からはマニュアルの災害想定を「東日本大震災」や記憶に新しい「熊本地震」のような多数傷病者が院内に押寄せを想定としたマニュアル作りに方向転換し、マニュアル改訂の活動を行っております。現在は災害拠点病院に求められる設備基準や配備物品の洗い出しや、災害時の薬品や食料品等の点検などを行っており、これまで決まっていなかった多数傷病者の外来受け入れ場所や人員配置等の話し合いも行っております。

〈H28 年の DMAT 活動報告〉

災害拠点病院の機能の一つとして DMAT(災害派遣医療チーム)の保有と派遣体制があります。当院にも DMAT は存在し、現在この委員会の組織下に位置しております。DMAT は毎年県内外の訓練参加や地域の防災活動などに従事しており、今年度の活動は以下の通りですが、中でも印象深い活動と言えばやはり昨年 4 月に発生した熊本地震での派遣活動です。当院 DMAT は前震直後に出動し、熊本市内在任中に本震に遭遇しました。その後は熊本赤十字病院での傷病者対応、益城町役場での救護所活動、倒壊家屋現場での活動を行いました。



－ H28 年度当院 DMAT の活動 －

- ・ 04 月 14~16 日 熊本地震 派遣活動
- ・ 06 月 08~11 日 日本 DMAT 研修参加 (医師 1 名 業務調整員 1 名)
- ・ 09 月 11 日/10 月 16 日 大分 DMAT 研修参加 (受講:6 名 スタッフ参加:3 名)
- ・ 10 月 26~29 日 日本 DMAT 研修参加 (看護師 1 名)
- ・ 11 月 05~06 日 九州沖縄ブロック DMAT 実働訓練参加 (長崎県島原)
- ・ 11 月 25 日 大分県高速道路訓練 (杵築市)

〈第一回 ICLS 中津市民病院コース開催〉

H29 年 3 月 4 日に当委員会主催による ICLS コースを院内スタッフ対象で開催いたしました。ICLS とは緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得するためのコースの事で、急変も一種の災害であると位置づけ、多くの他院の ICLS インストラクターの方々に手伝っていただきながら無事に開催することができました。とても好評なコースでしたが、1 回のコースで受講できる人数が 12 名と少ないため、今後は年に 3 回の開催を目標にスタッフ一同頑張りたいと思っております。

